

3.11大震災から丸二年になります。3/103時、赤羽西口で支援募金

支援活動に協力をお願いします。

ボランティア派遣など

支援をつづけています

そねはじめ前都議

2010年7月、集中豪雨によって堀船の首都高速道路工事現場の石神井川から濁流があふれ、四百数十世帯が水浸しになりました。

私は党北区議団とともに被害調査と原因究明に全力をあげ、都に資料を

安心のまちへ都動かす



(北区・定数4)

そねはじめ

1952年、北海道出身、北海道大学卒業。新日曹化工、民主青年同盟勤務、北区議2期。都議4期。都議団政調委員長、都議会経済港湾、厚生、文教、財政委員を歴任

ました。首都高が川に橋脚を林立させた工事が最大要因と指摘した私のレポートが住民協議会資料として配布され、他党議員が驚くという一幕もありました。北区で2議席を持つ民主党は都議会でもりあげようともせず、自民党

・公明党も都と首都高の責任を追究しませんでした。11年3月の東日本大震災直後から、私は党の震災・原発事故対策責任者として区内の地震被害と放射線調査、被災地支援で走り回りました。

「木密(木造地域)不燃化10年プロジェクト」道路計画のうち、北区の3路線はいずれも長年事業化できなかった道路計画で、「防災」の名でこり押ししようというものでした。私は地元区議や党支部とともに各地域で住民に学習・懇談を呼びかけました。補助81号線計画では、歴史の古いお寺や町会自治会ぐるみの運動となり、北区長を動か

定を繰り上げ、区に測定

・除染を実施させました。東北への募金活動と延べ13回のボランティア派遣で、推計1万人余の区民の募金・物資をお届けしました。昨年、都が発表した

区間を計画から除外させることができました。住民にとって安心・安全のまちづくりのために、何としても、都議会の議席を取り戻すためにがんばります。

税収も、財調財源も増え

H25年度5つの基金積立は425億円

◎新年度の当初予算案で、北区の財政は「危機」どころか、区政史上初めての400億円突破、積立基金の残高見込みとなっています。

◎北区は今年度(H24)予算として、「財調基金」を演出し、マスコミでも大きく報道されました。党区議団は、こうした財政操作によって、「危機」を乗り越え、区民の切実な要求をおさえることがあってはならないとして、新年度予算要求の実現に全力を尽くしてきました。

おむつ支給対象は要介護3までに拡大することができました(75歳以上の方)。

◎前年比で3800万円増へ。しかし、年齢の条件有り。

保育園区立認可園なども増設

◎ところが、フルタイム・常勤で働いている方からの入園申し込みに対して、1次募集の結果では、80人もの子どもが待機児に。(1児)そのため、北区として更なる対策を検討しています。党区議団としても、対応の強化を求めています。

※ 就学前の子ども、とりわけ、1児児の増加や、産休明けの1児児希望が増えたことなどの理由。



2013.2.22.No.1117

ご相談はお気軽に TEL FAX とも 3905-0970

さがらとしこ事務所 赤羽北3-23-17 (バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

日本共産党議員団 区役所内 3908-7144 http://www.kitanet.ne.jp/kyoukita/



さなら原発 in 飛鳥山 3月10日(土) 1時30分南会
被災地と連帯つながる 集会后、王子三角公園からパレード
そのほか、3/9(土)は明治公園で大集会(2時~) さまざまな取り組みが、全国各地にあります。

桐ヶ丘遺跡の発掘調査がすすんでいます。旧桐丘小学校



2013/02/20



月刊「環境情報紙」が桐ヶ丘建替への公聴会の意見を特集しています。

● 2012年10月3日、赤羽文化センターを会場に、都の環境局が開催した「都民意見と聞合」の様子がよくわかります。

環境アセス 2013/3 NO. 52 隔月刊

検討せられるアセスのあり方



桐ヶ丘団地第4・5期建替事業に対する『都民の意見を聴く会』開かる

昨年10月3日、桐ヶ丘団地の4・5期建替事業に対する「都民の意見を聴く会」が赤羽文化センターで開催された。高層者だけでなく、高齢者や障害者も参加した。この会では、高層者だけでなく、高齢者や障害者も参加した。この会では、高層者だけでなく、高齢者や障害者も参加した。

高層者が安心して歩ける団地に、大きな木を切るのをどうにか

中央公園の大きな育った木を道路建設のために切らなければならぬ

この街はみんなが力を合わせてつくりだした街です。都はその歴史を尊重して

公園を100年後を考えた建替計画を、道路はつくり道を考えた建替計画を、緑はやすみ、きれいな空気を、強い風を防ぐ樹木は、住民の声がかきやられる、まちづくり、子どもたちの通学路の安全のためにも、まっすぐ、歩道確保を実現させよう。



※遺跡の発掘現場の見学会も予定されています。

高層化は高齢者の行動を規制。直進区道は街づくりを失敗事例とする危険

緑はやすみ、きれいな空気を、強い風を防ぐ樹木は、住民の声がかきやられる、まちづくり、子どもたちの通学路の安全のためにも、まっすぐ、歩道確保を実現させよう。

団地住民にも近隣住民にも良質な建替は、人間と環境への配慮で

きれいな空気を、強い風を防ぐ樹木は、住民の声がかきやられる、まちづくり、子どもたちの通学路の安全のためにも、まっすぐ、歩道確保を実現させよう。